



6月定例市議会は6月7日から27日まで開催されました。共産党市議団は議案質疑・一般質問で切実な願い実現を求めました。

家棟川エコ遊覧船

6月議会の閉会にあたり

6月定例議会は東消防署建築契約、住民投票条例の改正など17議案が市長提案されました。共産党市議団は、更なる施行延期となる住民投票条例改正案に反対。その他、BGPールの3歳以下無料議案など16議案に賛成しました。

今議会は、野田政権が大飯原発再稼働や自公民3党が消費税増税法案を衆議院で強行するなど緊迫した情勢のもとで開かれました。

共産党市議団は原発再稼働に対する市長の政治姿勢を質問し、市民の命と安全を守る立場を求めました。一方、自公民“3党談合”で強行した消費税増税法案ですが、こんなことになれば、市民の暮らしと野洲経済は一層疲弊します。必要なことは消費税増税ではなく、無駄を一掃し、能力に応じた負担を原則にした民主的な税制です。

市議団はこのような立場から、子ども手当と引き換えに行った年少扶養控除廃止による市民税1.4億円の増税分を福祉施策に使うべきと求めました。暮らしが本当に大変な時です。引き続き、暮らしを守る市政の実現がんばります。

日本共産党野洲市議会議員団

住民投票条例の施行を求め修正案を提案しました

平成21年に制定された住民投票条例の施行を延長(最長で平成27年に)する条例改正が提案されました。本来、目的をもって制定された条例は同時に行うのが原則です。施行まで一定期間を置く場合は、市民への周知と準備期間に限られるべきです。共産党市議団は、“施行の棚上げ”ではなく、“現行条例通りの“3年以内”に施行する”ための修正案を提案しました。

議員定数削減の請願を不採択

「市会議員定数の削減に関する請願」は反対多数で不採択となりました。本来、議員の役割は市政のチェックと多様な市民要求の反映です。請願の削減理由では、「県下13市の中で相当数過剰。少数精鋭で資質向上が図れる」としています。人口34万人の津市と5万人の野洲市を比較して多いと言う乱暴な議論。また、「議員の資質向上」は議員の「多い」「少ない」では図れません。必要なのは議員が議員として役割を果たすことです。このことが市民の中にある「議員定数への疑問」に応える上でも必要です。



切実な願いを直接交渉(5月10日)

暮らしの要求実現へ滋賀県と交渉しました

市議団は市民の切実な願い実現へ5月10日、滋賀県当局と交渉しました。県として原発からの撤退の立場に立つこと。防災計画の見直し、福祉医療の充実、野洲養護学校のマンモス化対策、環境こだわり農業の改善など40項目です。引き続き、実現へみなさんとがんばります。

「原発撤退、消費税増税やめよ」と市民のみなさんとがんばっています

野洲駅での「市議団ニュース」の配布や「大飯原発再稼働やめさせよう」と対話を進め福祉と防災の野洲市政へ全力です。



市政・市議会へのご意見・ご要望をお寄せください

小菅六雄 比江668-3 (電話・FAX)589-4971
野並享子 北野1-7-10 (電話・FAX)587-0985
太田健一 近江富士2-11-25 (電話・FAX)588-3169

市議団ホームページ

<http://www.yasusigi.net/>

